

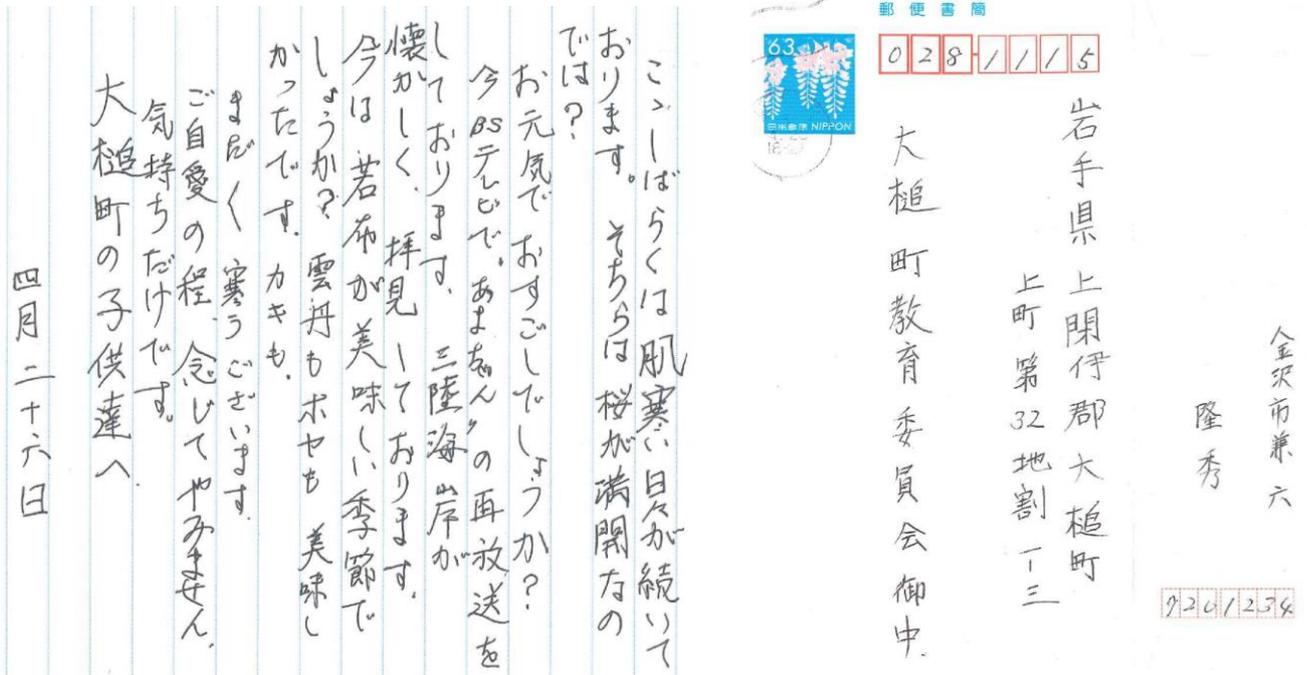
0歳から18歳までの一貫教育のまち
『おおつち一貫教育推進』かわら版



令和5年5月19日(金) No.8
文責
教育委員会学務課 吉田

「学びがふるさとを育て ふるさが学びを育てる町 おおつち」

・2014年9月から毎月ご厚意をいただいております



2014年9月から、毎月「大槌町の子供達へ」と「隆秀」と名乗る方より、教育委員会宛に20,000円が届いています。総額は200万円を超えました。

この寄付金は、「大槌町教育振興基金」として、修学旅行施設入場料購入費助成、中総体県大会出場補助金等で大槌の子供達のために使わせていただいております。

以前、伊藤正治元教育長が直接お礼させていただきたいと、石川県の新聞社に記事を掲載していただきましたが手掛かりはありませんでした。

震災以降、世界各地から沢山の温かいご支援をいただけてきました。

これまで支援して下さった方々や、震災から10年以上が経過しても継続して支えてくださっている方々に感謝やお礼の気持ちをお伝えすることは、大槌の教育が子供達を主役にして、学校・家庭・地域の協働で日々発展していることをしっかり発信することだと考えています。

※「おおつち一貫教育推進」かわら版は大槌のHPに掲載しています。

・0歳から18歳の一貫教育のための研修スタート

5月16日(水)幼小接続事業研修会が行われ、今年度の事業計画の確認とスタートカリキュラムの充実、「あいう絵カード」の活用方法について情報交流・協議が行われました。

保育園、幼稚園の教材として使った「あいう絵カード」を小学校に持ってきて使っている児童もいるという報告があり、幼小で継続して使われていることがわかりました。



「あいう絵カード」は、ひらがなを絵と結びつけておぼえるための大槌町オリジナル教材だよ

東ことば指導員が発案して、絵は佐藤主任指導主事が描いたんだ



幼児教育が全ての子供達の学びの基本となっています。それにつながるのがスタートカリキュラム、架け橋プロジェクトになります。今後、各学園や高校の先生方に共有していきたいと思います。(詳細は次号で紹介)